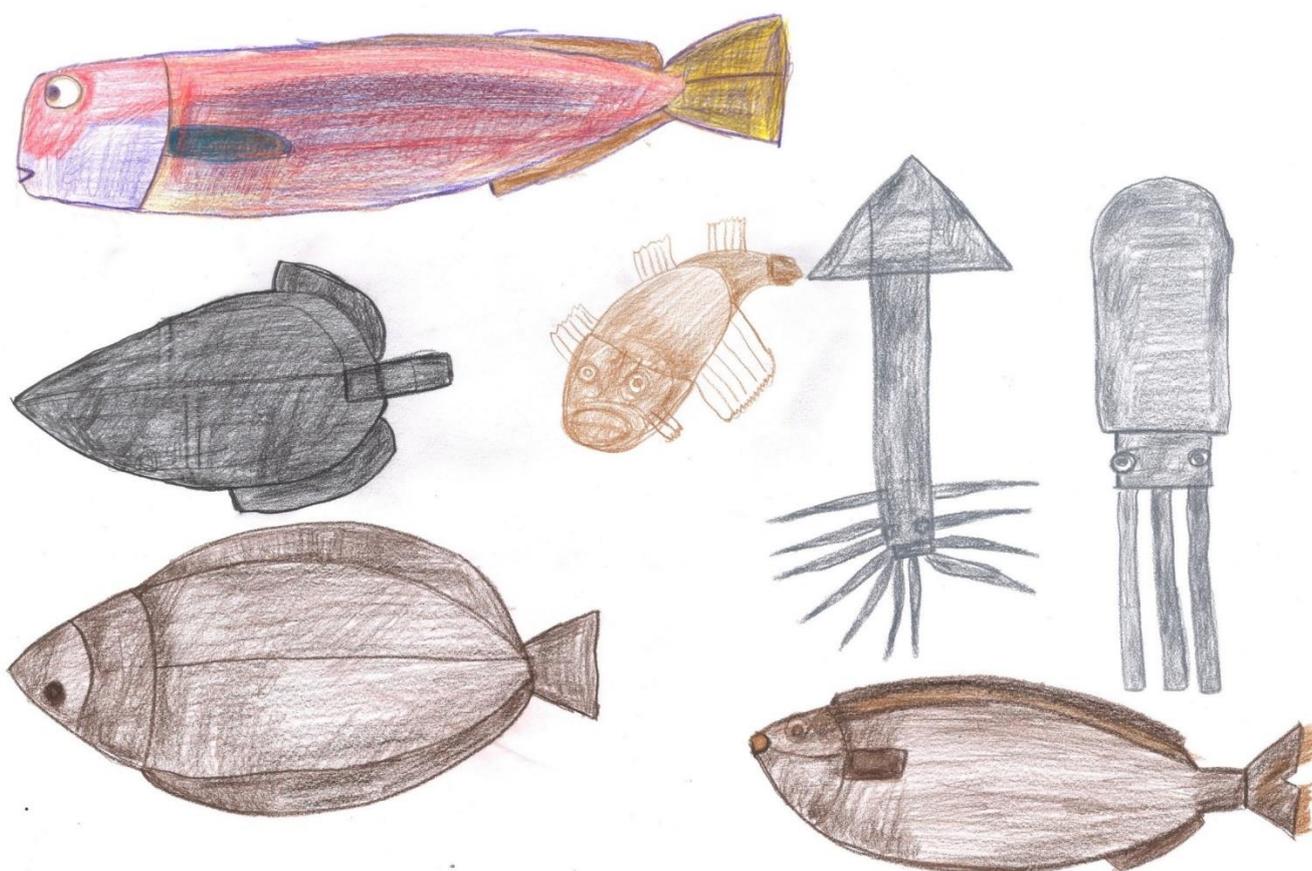


社会福祉法人

夢21福祉会

Social Welfare Corporation Yume21 Fukushikai

夢21だより No.5



「魚」 作：新井 孝亜 (さかもとてらす)

【目次】

- P1 表紙絵／さかもとてらす 新井孝亜
- P2 新型コロナウイルス蔓延で感じたこと／理事長 佐藤文明
- P3 地域交流 横浜F・マリノスフットーロ／サンハイム緑園都市 南郷力
- 表紙絵作者紹介／さかもとてらす 新井孝亜
- P4 事業所紹介／サンハイム仏向原 赤い羽根共同募金報告

新型コロナウイルス蔓延で感じたこと

夢 21 福祉会 理事長 佐藤文明

普段から感染症等の病気に弱い利用者が多い障害者の支援事業所では、新型コロナ感染の拡大はまさに恐怖そのもの。非常事態宣言が発令された直後には作業所の利用者には出来るだけの自宅待機をお願いしました。**長期に渡りご本人と親御さんには大変なご苦勞をお掛けしてしまいました。**国民の自粛の努力により少しずつコロナ感染者が減ってきていることはうれしい限りであり、一刻も早く通常運営を出来る時期が来ることを願うばかりです。

毎日、コロナのニュースを見ていても解けない疑問があります。2月より医師をはじめ各方面の方々がウィルス制圧のためには「PCR検査の拡大が急務」とテレビ・新聞等で訴え続けていました。しかし3ヶ月が経過しましたが、PCR検査の飛躍的拡大は実現せず、その必要性を訴える主張が未だに各メディアを騒がせています。**極めて稀な非常事態に、3ヶ月も同じところで足踏みしている様に見える我が国**に対して、強く疑問と不信を持つのは私ばかりではないと思います。海外に目を向ければ、韓国、ドイツ等の国は画期的なドライブスルー方式を生み出し、短時間で飛躍的にPCR検査を増やし、台湾は素早い対策でコロナの抑え込みに成功しつつあります。医療については素人である私は、今までは「我が国の医療は世界のトップクラス」と思っておりました。しかし、それは「どうもあやしいぞ!」と思うようにもなりました。新聞等の資料を総合すると、歴代政権は市場原理を基調とした財政改革により「赤字の病院は許されない!」と病院の再編を進め、**医療の予算を削り続けてきました。**国の対処機関である国立感染症研究所の予算と人員を長年削り続け、全国で感染症の病院数とベッド数はこの20年で約5分の一の1870床に、重症者に必要な人口呼吸器の数は医療削減を続けたイタリアの半分。「備蓄は無駄!」と軽視し続けて来たため、医療マスクや防護服、医療ゴーグルないない尽くしという我が国のお寒い医療の実態を新聞報道から知りました。医療技術、医療人材、ベッド数、医療器材等の医療の総合力はとて「世界のトップクラス」とはほど遠いと言わざるを得ません。「PCR検査を増やそうにも増やせられない」これが医療の本当の姿のようです。

翻って**障害福祉をはじめとする社会保障**はどうか?といえ、厚労省は医療と同じように、生活保護の削減、介護保険の削減。障害福祉でも、「生産性」という福祉とは真逆の信じられない言葉を使って我々福祉事業者の尻を叩いています。利用者が1日来れば報酬を払うという日払い方式の導入でやたらと書類作りが増え、本業である利用者との触れ合う時間が減り、退職共済における国負担の廃止等でそれだけでなく低賃金で職員採用が困難な中で、ますます職員採用は深刻になっています。

国の役割は防衛や外交、経済もありますが、一番の仕事は「**国民の安心と幸せを作る**」ことです。コロナウイルス蔓延で明確になったことは、医療や社会保障がギリギリの状態では「突発事態には対処できない」ということです。今後も出現すると予想される新たなウィルスや増える自然災害に備えるためにも、国民の健康と安心に直接かかわる医療、社会保障には国民の声を聞き、見合う予算を使い「**一定の余裕(ゆとり)**を持たせることこそ、非常時や災害に対処しうる大事なポイント!」と声を大きく叫びたい。私は今そういう気持ちでいます。

地域交流

りょくえんとし
サンハイム 緑園都市
なんごうちから
南郷力さん

南郷さんが所属するサッカーチーム、
横浜F・マリノスフットボールのコーチ
小山さんにご協力いただきました。

横浜F・マリノスフットボールは、「サッカーを身近に楽しむことのできる環境の整備」「技術の獲得と障がいのある人たちのサッカーチームとして2004年に発足しました。フットボールはスペイン語で「未来」を指し、誰もがサッカーを楽しむことのできる「未来に向けて」「未来はきっと」という願いが込められています。チームには13歳～50歳までの85名がA～Eの5チームに分かれて練習をしています。全国大会につながる大会や交流を目的とした大会への参加、マリノスホームゲームでの前座試合や沖縄・鹿児島への遠征やボランティア活動なども積極的に行なっています。南郷力選手は、チームに所属して14年目のシーズンを迎えます。ポジションは、ディフェンダーやゴールキーパーなど、ベテラン選手としてチームの中心的役割を求められる中、スピードやキック力を武器に一生懸命頑張ってプレーしています。

フットボールでは、サッカーの技術の獲得だけでなく、サッカーの活動を通して社会性を身につけることも重視しています。加えて、フットボールのようなチームが全国にでき、リーグ戦が行なえるような働きかけをしていく事、それからフットボールの中からプロの選手が生まれればうれしいと思っています。興味がある方は南郷選手にいろいろと聞いてみて下さい！
＜横浜F・マリノスフットボール・コーチ 小山良隆＞



表紙絵 作者紹介

あらいたかつぐ
さかもとてらす 新井孝亜さん

魅力的な表題の絵を描いた新井孝亜さんをご紹介します。
昨年8月、夢21西谷より「さかもとてらす」へ異動し、新たな作業として日々おとうふ作りや下請け作業に奮闘されています。

絵を見て頂いてお分かりかと思いますが、1色の色鉛筆から濃淡を魔法の様に操り、時に力強く・時に優しいタッチで皆を引き付ける絵を描いてくれます。

その様子は作業の時もよく現れ、おとうふ作りの豆乳を混ぜる工程も時に豪快に混ぜますが、こぼれることなく丁寧で、配達先に届ける納品書の宛名書きの字もとっても綺麗です。

どちらかという物静かなイメージの新井さんですが、楽しいことが大好き！自ら面白い事を仕掛け、周りを笑わせようという一面の持ち主でもあります。そんな新井さんのどこかほっと和む雰囲気は特別な感じです。

さかもとてらすにお越しになった際や、どこかでお会いしたら声を掛けてみて下さい。新井さんは昭和の空気感が漂うとてもシャイな方ですが、にっこり笑顔で応えてくれるはずですよ！



サンハイム仏向原

～グループホーム紹介～

2020年3月1日に法人として9番目のグループホーム『サンハイム仏向原』が保土ヶ谷区の仏向町にオープンしました。新築のためとても綺麗でまだ木造の良い香りを味わうことができます。入居者は現在4名、少しだけですがおひとりずつご紹介させていただきます。1人目は戸口さん。日中は第三空とぶくじら社スマイルに通所しています。入居前の見学会で目をキラキラさせながら外観や居室を見ている姿が印象的でした。ラーメンの食べ歩きをはじめ、最近はガンダムのプラモデル作成が好きな多趣味な方です。2人目は渡邊さん。日中はさかもとてらすに通所しています。ホームでは配膳の手伝いや食事の声かけなどしてくれています！横浜FCの三浦知良選手が好きで、ファンになったきっかけは「カズダンス」を見てからだそうです。3人目は猪野さん。渡邊さんと同じさかもとてらすに通所しています。散歩と電車を見る事が大好きです！休日の晴れた日には、必ず和田町駅付近まで散歩に行き電車を見ている。また、時間の正確さは支援者も目を見張るほどです。4人目は大類さん。日中は夢21西谷に通所しています。ホームでは床掃除やテーブル拭き、カーテン閉め等の役割



を積極的にしてくれます！作業所から帰宅したばかりなのに「掃除～」と言って、いつもホームを綺麗にしてくれているムードメーカーです。穏やか～な空気が流れているサンハイム仏向原。みなさんいつでも遊びに来てください。入居者一同、心よりお待ちしております。
〈サンハイム仏向原・藤村〉

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金を受配して、夢21上星川とさかもとてらすの厨房設備を整えることができました。ありがとうございました。



法人施設一覧

<生活介護>

- ・夢21上星川
L 計画相談支援事業所
- ・夢21西谷I
- ・まどか工房
- ・さかもとてらす

<グループホーム>

- ・夢21ホーム
L サンハイム緑園都市 L サンハイム鶴ヶ峰
L サンハイム仏向 L サンハイム睦ヶ丘
L サンハイム西川島 L サンハイム橘
L サンハイム羽沢 L サンハイム仏向原
L サンハイム羽沢II

社会福祉法人 夢21福祉会

〒240-0043

神奈川県横浜市保土ヶ谷区坂本町128 FKDビル102

HP: <https://yume21.net> Mail: info@yume21.net

TEL: 045-334-0491 / FAX: 045-331-4653 (代表)

発行) 社会福祉法人 夢21福祉会

編集) 広報誌委員会

石井幸治 山口博之 青戸駿

夏苺美智代 岩崎小百合 小川智也